

# 「11月の新刊紹介」

## ◆ 文学・小説 ◆

No Image...

今野 保 『アラシー奥地に生きた犬と人間の物語』

吹雪の夜に迷い込んできた山犬の仔は、過酷な北海道の原野を生き抜き、やがて仲間とともに山奥へ消えた――。

犬と人との絆、野生の掟、生と死がせめぎ合う伝説の名著。

No Image...

植松 三十里 『鹿鳴館の花は散らず』

明治初期、近代国家としてスタートした東洋の小国・日本にとって、国際的地位向上は急務だった。公家の娘として生まれた榮子は、その美貌と気品で「鹿鳴館の花」と称えられるほど、外交面で活躍する。

しかし、鹿鳴館外交は条約改正に至らず、榮子は自分の役目を模索し――

問い合わせ先：南富良野町教育委員会 TEL 52-2145